
麻生リトル・ラグーマン



神奈川県川崎市

麻生ラグビースクール

『27年度』一年間ありがとうございました!!

校長 三浦 幸宏

今年度も早いもので最終号となりました。27年度スタートの4月5日は生憎の雨の為、本格的には4月12日のスタートとなりました。怪我防止の為に体幹トレーニングや基本を重点に置き練習が始まりました。又、同日12日の午後からは麻生市民館会議室で恒例となった父母会と総会が行われ、総会では27年度の人事・予算・事業計画が承認されました。

今年度も日大フェスティバル初め、父母懇親運動会、キャノンカップ、リコーカップ、春季交流大会、夏合宿、5～6年のミニ合宿、多摩ラグビースクール交流大会、秋季交流大会、県大会及び打上げ、餅つき大会、6年ミニラグビーファイナルカップ、各スクールとの交流会、ミルキー大会等の行事の他に初めての試みとして低学年が藤沢ラグビースクールとの交流会と地引網に参加、保護者に対して食育講演会を実施しました。いずれも好評でした。

今年度の県大会では3年生と4年生が優勝と輝かしい成績を取ってくれました。又、6年生はファイナルカップでボウルの部優勝を成し遂げました。頑張ってくれてありがとう！

反省点は、今年度怪我防止に取り組んでいたのですが大きな怪我ではないとはいえ怪我が多かった事です。次年度に向け再考し怪我防止に取り組む所存です。

小学部・中学部を卒業される皆さんご苦労様でした。これからラグビーを続ける子、他のスポーツや文化系に進む子がいると思うが、君たちが麻生ラグビースクールでラグビーを通して、優しさ・礼儀・忍耐・助け合い等を学んだ時間や経験を忘れないでください。そして夏合宿での厳しい練習の事、アゲインと何度も云われ繰り返し練習をさせられた事、声が出ないと何度も云われたこと等々、あの厳しい練習に耐えることが出来た事、素晴らしい事です。どの道に進んだとしても必ず役に立ちます。『遣りきった自信と誇りそして勇氣』を持ち麻生ラグビースクール出身者として胸を張って下さい。何事にも手を抜かず一生懸命に取り組む事が大事です。今後の君たちの活躍を楽しみにしています。

最後に、保護者の皆様やコーチの皆様のご理解とご協力に感謝すると共に28年度も宜しく願い申し上げます。27年度一年間ありがとうございました！

平成27年度のまとめ

幹事長 加賀 司

3/29の卒業式を残して、全ての行事が終わります。

麻生ラグビースクールの役員・コーチの方やご父母の皆さんの多大なご協力を頂き、無事に1年間を終えることができることに感謝いたします。どうもご苦労様でした。そしてありがとうございました。

・今年度を振り返りますと4月以降に入校した生徒は30人と昨年の16人からは約倍増です。

ラグビーワールドカップの影響もありますが、6回の体験会の開催等募集活動を実施した効果です。

- ・幼児: 田口ケイタ君の1人
- ・年中: 貞光トモキ君の1人
- ・年長: 村山タクミ、空岡リョウ君、大滝ユキネさん、土屋タロウ、細谷シン君の5人
- ・1年: 大野シンイチロウ、森ユウタ、大滝タイセイ君、佐野ミク、倉谷クルミさん、谷澤ケイ、和田イツキ君の7人
- ・2年: 小中マサト、円能寺アカシ、宮本ダイチ、佐上カイト君、関口ワカナ、萬場マナミさんの5人
- ・3年: 増田ユウマ、土屋ユウスケ、尾崎ジョウタロウ、倉谷カイ、鈴木コウタ君の5人
- ・4年: 小中タクミ君の1人
- ・5年: 夏川リョウイチ、石井ヒカル、森下キョウスケ君の3人
- ・6年: 小崎ヨウタ君の1人
- ・中学には神下、竹川、原田、萩原、宮澤、京屋、海老原、村松、都留姉弟、濱田、中島、小高、坂脇、池田、久松、森、小崎君の18人が卒業し、10人弱がDAGSに進級予定。
- ・中学3年は伊藤、中司、菅原、大坪、齋藤、大森、萩原、西野君の8人が卒業しました。
- ・新人コーチは夏川さん、大滝さん、村山さん、倉谷さん、森下さんの5人でした。
また、3月末で退任されるコーチは井上 正敏、竹川健次、東海林謙二さんです。
長い間、ご指導頂き、ありがとうございました。
- ・コーチのウィンドブレーカも夏・冬用のピスティとしての2種類が新規デザインされました。
- ・9月に父母会主催の講演会をiプラザにて開催し、日大ラグビー部管理栄養士の新庄様に子供の食育に関する講演をお願いし、約50名の父母が参加されました。
- ・12月の県協会主催の運動会にて宮内コーチと小山田コーチが永年功労表彰されました。
- ・12月21、22日の2日間、片平小学校にて川崎市主催のラグビー体験会を実施しました。
- ・1月10日に行われた恒例のもちつき大会は6年父母と5年父母による前日からの仕込みによりつきたてのおもちと豚汁を提供し、150名程の参加者全員に満足して頂きました。
- ・2月20、21日には海老名陸上競技場にて6年ミニファイナルカップが開催され、予選リーグは1分1負でしたが、ボール戦は3連勝で見事ボール優勝を果たしました。
カップ戦は田園が優勝、グリーンクラブが準優勝、プレート戦は藤沢が優勝でした。

「平成28年1月10日 餅つき大会と2月21日6年ミニファイナルカップの集合写真です」



以上

卒業おめでとう

高学年技術指導 上田博朗

6年生に皆さん卒業おめでとう。そしてファイナルカップボウルトーナメント優勝おめでとう。あっという間にこの時が来てしまいましたね。毎年のこととはいえこの時期はさびしい限りです。

さて、個人的には今年で6年生の指導をさせてもらうのが3年連続になります。それぞれの世代でファイナルカップ前に急激な成長を見せてくれるのですが、春からの伸びしろという点ではみんなが断トツで一番でした。

その成果として最後の大会でも結果を出してくれました。グループリーグで引き分けた横須賀や僅差で敗れた新潟のトーナメントの結果を見ても、みんなの力は上位チームに引けを取らないだけのものがあつたと確信しています。

しかし、こういった悔しさや挫折という経験こそが、君たちを成長させるバネとなります。今回の結果は、みんななりに受け止めて各自で次への糧にしてくれたらうれしいです。

これからラグビーなのか、他のスポーツなのか、文化部なのか、学問命なのか人それぞれでしょうが、何事にも「諦めない気持ち」をもって取り組んでください。

心が折れそうになって時には、稲城グラウンドに遊びに来てください。フィットネスメニューを用意して気合いを入れ直して差し上げますよ。

勉強会あれこれ(2)

4年コーチ 佐藤 満弘

勉強会では、ルール、レフリングも勉強しましたが、正規の話ではなく、以下のような話題についても話しました。意外に本質をついているなと感心しました。

<レフリーはカッコ良くなきゃ>

服装は両チームのジャージの色に対照的な色を選ばなければならないのは当然のことですが、それ以上にバランスの取れた見た目を良くすることに気を配ってください。太めの方は縦縞を選ぶとか、短髪にする、無精ひげは生やさないと色々あります。少なくとも白とか、黒とか単色のものも準備しておいたら良いと思います。ジャージ、パンツ、ストッキングが色、バランスのとれたものにして欲しいのです。要は試合もさることながら、観客もいることに意識していただきたいのです。

<レフリーは威厳をもっていなきゃ>

姿勢はキチンと立っていなければなりません。前かがみになっていると自信なさげに見えます。モールやラックでボールを見るときは、立った状態から座るようにします。

反則の笛を吹いたら“これがオレのルール”という気持ちでいてほしいのです。笛の長短、強弱は自信の現れです。プレイヤーがものをいう、外野が文句を言ったら“シャット ア マウス”を態度で示してください。

<レフリングはアバウトで>

これは斉藤直樹さん(神奈川大学・名レフリーといわれた)の言葉です。決していいかげんに笛を吹くということではありません。

軽度な反則をルール通りに取りすぎるとゲームが面白くなってしまふからと考えてください。レフリーはゲームの演出者であるということを意識しているのです。たとえば、勢いのあるギリギリのスローフォアードは見逃すとか。ジャッカル程度のノックオンは取らないとか。

真下レフリー(1時代前の名レフリー)はラインアウトのとき、攻撃側のハーフの後ろに立っていました。これではノットストレートは見えません。でもラインアウト内でのチャージとか、ハーフに対するチャージ、ノックバックなどは良く見えるのです。

次のプレーを見やすい位置に立つほうが大事だと考えていたのです。

<レフリーはプレイヤーと仲良く>

トップリーグ、大学などの試合でレフリーがプレイヤーに話しかけるのを見たことはありませんか。

トップリーグは有名選手の集まりですし、大学は4年間プレーしています。

だいたい名前くらい覚えるものです。

常に会話をし、コミュニケーションをとっておくことでトラブルを未然に防ごうとしているのです。

ミニでもキッカーと話をするとか、トライをしたらプレイヤーをほめてやるとかしてください。

<次回に続く>



DAGS

卒業

DAGS 3年 伊藤 大吉

最後の一年間があっという間に終わり、今までのラグビー人生に強い充実感を感じています。楽しいことよりもつらいことの方が多かったけれど、自分自身を少しずつ強めていくことができたので良い経験になりました。今後はより過酷な日々が続くと思いますが、今までの経験を生かして乗り越えていきたいと思います。今まで支えてくださった皆さん本当にありがとうございました。少しでも恩返しができるように頑張ります。

信頼できる仲間

DAGS 3年 中司 大也

ぼくは、麻生ラグビースクールで6年間、DAGSで3年間お世話になりました。そして、かけがえのない仲間に出会うことが出来ました。キツイ合宿や、日々の練習もこの仲間と一緒にだったからやり抜けました。コーチのみなさまには、プレーだけではなく仲間をおもう気持ちも教わりました。これは、高校、大学、大人になっても一番大事な事だと思います。そして、練習はキツイけど、ラグビーが好きになりました。本当にありがとうございました。後半、菅原コーチにキックを教わり、キックのコツとタイミングが分かった時がありました。とても嬉しくて、自信ができました。新チームのみんなへ一回、一回の練習を大切に、仲間を信じ、自分を信じて頑張ってください。

卒業

DAGS 3年 齋藤 裕太

中学3年間はあっという間だった。辛く、楽しい3年間だった。

そんな3年間を終え、卒業し、全く環境の違う高校でまた3年間ラグビーをする。

知らないことへの不安はあるが、3年間やっていけるか？という心配はない。DAGSでの3年間があるから。この経験があれば問題はないと思っている。そして、高校での3年間で中学以上の経験をえられる3年間にしたい。

コーチ！3年間ありがとうございました！

みんな！3年間ありがとう！

卒業に向けて

DAGS 3年 萩原 睦

中学校三年間で学んだラグビーの知識や技術、また社会の一員としての礼儀は一生に生きるものだと思います。

ラグビーの技術で三年間で一番成長したのはパスだと思います。小学生のころより正確に、そして長くとぶようになったと思います。しかしまだ十分なレベルではありません。高校に入ってからラグビーは続けるので、もっと上達できるようにしたいです。

三年間支えてくれた両親や、教えてくださったコーチたちへの感謝を胸に高校でもがんばりたいです。

卒業おめでとうございます!!

DAGS 2年 海老原 翔空

ぼくは、一年生の9月からダッグスに入りました。はじめは、三年生や二年生はこわいのかな、と思っていました。しかし優しくとてもいい先輩達でした。

一緒に練習していくうちに仲良くなれたと思います。高校にいてもラグビーを、やる人、やらない人がいると思うけど高校生になっても頑張ってください。

ぼくは、キャプテンになったのでチームメイトをしっかりまとめていきたいです。

卒業

DAGS 2年 齋藤 裕人

3年生のみなさん。卒業おめでとうございます。今まで一緒に練習ができて楽しかったです。高校でもラグビーを頑張ってください。

感謝

DAGS 3年 萩原 睦の母 信子

睦がラグビーを始めたのは小学校2年生。小さい頃から何度か体験に連れてきてもボールを触りもせず、ほぼ諦めていたときに、3歳下の弟が「ラグビーやりたい!」と言い出し、仕方なく一緒に始めました。インドア派でドッチボールさえ好きじゃなくて、目の前にボールが落ちていても拾いもしない子で、リトルラグーマンに「ラグビーは好きじゃありません」と書いたこともありました。いつまで続くかな～そんな心配をよそに、どんどんラグビーが好きになっていきました。

けれども中学ではテニス部だったので、両立に悩む日もありました。「土曜日は部活と決めているから、一貫には行かない」と睦が決めたときには、もう本当はやめたいんだろうと思い、「お父さんに遠慮せず、やめたら言いなさい」と言いました。でも返事は「やめないよ」と。この後も、テニスにのめり込む睦とこの会話を何度したことでしょう。皆さんに迷惑をかけている、そのことが私は心配でした。

睦はblankがあっても普通にグラウンドへ行かれる子で、それはマイペースな性格なことも良かったのですが、コーチも仲間も当たり前のように迎えてくださって、やっぱりラグビーは楽しいと思えて帰ってくるのができた！素晴らしい皆さんのおかげで続けることができたと思っています。

途中寄り道をして、皆さんにはご迷惑とご心配をお掛けしましたが、高校では絶対にラグビー部に入ると決めて進路を決めました。それに免じて、睦のマイペースでわがまま放題の三年間をお許しいただき、これからも見守っていただければ幸いです。

ラグビーを通して出会えた皆様、ありがとうございました!!

卒業

DAGS 3年 齋藤 裕太の母

裕太は4人兄弟の一番上です。私にとって初めての子です。裕太の成長と共に私も母親歴を重ねてきました。

今年の2月、母になって一番と言ってもいいくらい辛い思いをしました。そして裕太は15年生きてきて、一番辛い思いをしたと思います。

一番辛いのは裕太のはずなのに、彼は「ごめんなさい。」と私に言ってくれました。

これから進む道は裕太が希望していた道ではないかもしれないけれど、3年後には「お母さん、この道に進めて本当に良かったよ!」と笑顔で言ってくれるよう裕太を応援して行こうと思います。

コーチの皆さま、3年間本当にありがとうございました。

お母さま方、3年間本当にありがとうございました。またグラウンドでお会いできる日を楽しみにしています。



6年生関係者皆様
6年生・コーチ・父母・兄弟

ありがとう6年生

6年チーフコーチ 濱田 正行

6年生の皆さん、小学部卒業おめでとう！

6年生最後の公式戦であるファイナルカップは初日の予選で1引き分け1敗となり、残念ながらボウル戦へと進みました。しかし、2日目のトーナメントでは3試合を圧勝し、見事優勝する事が出来ました！！

初日に敗れた試合も1トライ差となっており、混戦の中で非常に惜しい試合結果です。

6年生は県大会以降、今までの「やらされる練習」から「上達する為の練習」へ徐々に気持ちが変わってきたと思います。練習に取り組む姿勢は年明け以降、格段に良くなって来ました。

どんなスポーツでもそうですが試合に勝つ事がそのスポーツを好きになる近道になります。勝つ事によって「また勝ちたい！」、「もっと上手になりたい！」と考えるようになります。我々コーチ陣はみんなと試合に勝利し、一緒に喜びたいと思い、厳しい練習もしました。時には？怒った事もあります。それでもなかなか結果がでず、悩んだ事も沢山ありました。実際には勝つ事だけが全てではありませんが負ければやっぱり悔しいです。子供達と同じようにコーチ陣も悔しかった…やっぱり勝ちたかった！！

最後の公式戦では敗れた試合もありましたが全ての試合でみんなが気持ちを込めて「やりきる」試合が出来たと思います。

と…言う事もあります但し私自身、子供達と一緒に練習に参加し、学年が上がる度に強くなる当たり前に成長を感じ、とても嬉しかったです。

試合も大事ですが子供達の練習に混じり、一緒に走ったり、パスしたり、アタックディフェンスしたりしていた日常の練習が私にとっては最も楽しい時間でした(^)

コーチの方々、父母の皆様、今まで本当にありがとうございました。

ありがとう！

6年サブチーフコーチ 斎川 宏

ファイナルカップ_ボウル戦、優勝おめでとう！

君たちが3年生の県大会からファイナルカップまで、キヤノンカップやリコーカップを含め、初めての「優勝」です。君たち皆本当に頑張りました。最後が良い結果で終わってコーチは嬉しいです。もう一度言います、優勝おめでとう。

しかし、残念な結果でもありました。

負け惜しみではなく、ファイナルカップの君たちだったなら、カップ戦に進めても「十分」に戦えたと思います。プレート戦であったなら、優勝に手が届いたかもしれません。にもかかわらず両グレードに進めなかったのは、チョットした差だと思います。でもこの差が「研ぎ澄まされた差」であるなら、越えるには高く大きな差でもあります。研ぎ澄まされた差というのは、100M走のベストタイムが11秒であったなら、13秒から

12秒へ記録更新は比較的容易かもしれませんが、でもベストタイムに近付けば近付く程0.1秒を縮める事は非常に困難になります。一朝一夕で身に付く力ではありません。継続的鍛錬に基づきます。

ファイナルカップを前に皆の意識は高かまったと思いますが、そこに至るまでが遅過ぎたと感じています。6年生になってからの日々の練習を如何に大切に出来たか？に尽きます。これは君たちだけではなくコーチングの問題でもあると今更ながら反省しています。

中学生に進級し、ラグビーに限らず(勉強においても)とも、同じ事が言える筈です。日々の「生活」の中にこそ大切なものが埋もれていると思います。見つけて下さい。掘り起こして下さい。明日の君たちのために。

君たち年代とは年長から(1年生時以外)6年間、一緒に練習してきました。コーチとして至らない事が多々あったと思いますが、ご父兄も含め本当にありがとうございます。

最後になりましたが、卒業おめでとう。

6年生のみなさんへ

6年サブチーフコーチ 野田 卓人

麻生ラグビースクール小学部修了おめでとう！
そしてファイナルカップ・ボウル戦優勝おめでとう！

君達が1年生のときから一緒にラグビーをやってきて、あっという間に6年が経ちました。6年前と比べると当然のことながら体は格段に成長し、6年生になってからの君達のタックルはコーチたちの体を確実に痛めつけていました。

県大会やファイナルカップといった目標に向かって練習を繰り返すことによって、仲間との連帯感も高まり気持ちの面でも大きな成長を見せてくれ、コーチや応援してくれる家族の人に感動を与えてくれました。

中学校に進んで引き続きラグビーを続ける人、違うスポーツを始める人、勉強に励む人、色々だと思いますが、麻生ラグビースクールで学び、身につけたことは大きな財産になると思います。麻生でラグビーをやっていたこと、一緒に頑張った仲間のことを忘れずに、それぞれの新たな道を歩んでください。

君達とラグビーができてとても楽しかったです。
みんなの更なる活躍を期待しています。頑張れ！！

卒業おめでとう、また中学でも..

6年コーチ 加賀 司

6年生のみんな、ファイナルカップの感想はどうでしたか。

県大会の雪辱を晴らした横須賀戦、前半終了のホーンが君たちと同じように小さくて聞こえなかったためロスタイムでトライされたけど、大人でもミスはあります。もっと大きなホーンだったらレフリーも気がついたでしょう。ホーンを鳴らした人もまだ終了しないと判れば、競技委員に声を掛けて試合を止めることもできたかもしれません。

それだけ、試合中に仲間に聞こえるように大きな声を出すことの大切さが判った試合でもあります。

2試合目の新潟戦は大きな子2人に圧倒された感じでしたが、アフターマッチで並ぶとそんなに大きくもなく逆に小さな子の方が多いチームだったと思ったのではないのでしょうか。

大きな子2人は「僕がトライをとるぞ」と言う強い意識でプレーしていましたが、麻生は1人1人がこの気持ちに負けていたのかもしれないね。

それでもボール戦では3連勝で見事な優勝でしたね。

前の県大会号でコーチが書いたように勝ちたいと言う気持ちがプレー全体に表れ、みんなで声を掛け、み

んながそれに併せて行動し、次の声掛けが出て、試合にはでれなかった2人もサイドから応援し、18人全員で勝ち取った優勝です。

このメンバーで戦えた小学生最後の試合、悔いを残さないで全力でプレーして、ゲームを楽しむことができたのではないかなと感じました。

3年生からの4年間、コーチたちの思いも一緒にプレーしてくれた君たちに感謝。

コーチ陣もお互いに硬い握手ができました。涙涙・・・！

尚、加賀コーチは夏川、芝田コーチと一緒にまた新3年生からはじめます。

君たちへの指導についての反省点は明確であり、新3年生にはビシバシと基本の声出しから強く、強く指導して行つつもりです。

ご卒業おめでとうございます。

6年コーチ 夏川 純一

6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

皆さんとは5月から担当させていただきましたので、実質1年に満たない短い時間でしたが、楽しい時間をすごさせていただきましてありがとうございます。

夏合宿、県大会、ファイナルカップとステップを踏むごとに、強くたくましくなる皆さんを間近で見させていただきました。

当初はプレーすることに対する意識が低く、心配する場面も多かったのですが、徐々に目つきやプレー中の声、ボールに絡む積極性が高まり、どんどん見ごたえのある試合となっていきました。

ファイナルカップは本当に「良い・感動できる」試合でした。

チームで一つの目標に向かって頑張るという経験はなかなか得がたいものです。この経験をしっかりと心に刻んで、これからの成長の糧としてください。これからの皆さんの活躍、心より期待しております。中学に入っても「ラグビー」を好きでいていただければ幸いです。

最後に、ご父母の皆様には多方面でご理解・ご支援、本当にありがとうございました。

卒業おめでとう

6年コーチ 井上 正敏

ファイナルカップ ポウル戦優勝おめでとう。初日は1分1敗という結果でしたが、2試合とも接戦で非常にいい試合でした。夏からファイナルカップまでの君たちのがんばりが、この結果につながったと思います。合宿、県大会、ファイナルカップを通して、本当に君たちは変わりました。ファイナルカップで、本当に一つのチームになれたと思います。

君たちが1年生になった時からコーチを担当し、6年間いっしょに走ってきましたね。低学年の時、本当に小さかった君たちが、今ではコーチをはじき飛ばすぐらいのタックルをするほど大きく、強く成長しました。ファイナルカップに向けた練習では、シャトルランで遅れたメンバーを励ますために、自主的にもう一往復するため走り出した君たちの姿をみた時、君たちの心の成長を感じ、胸が熱くなりました。コーチは君たちとラグビーができたことを本当にうれしく思います。数々の感動を有難う。

いよいよ卒業ですね。これからいろいろな困難に直面する機会もあるでしょう。強いタックルができるようになった君たちです。きっとその困難に正面からぶちあたって、乗り越えていけると信じています。

最後になりましたが保護者の皆さま6年間いろいろとご支援頂き、本当に有難うございました。

麻生ラグビースクール卒業

6年 キャプテン 海老原 銀次

保育園から今までラグビーを続けてきました。
七年間いろいろなコーチにお世話になってきました。
だから、ファイナルカップのボール戦で勝てたと思います。
なので いろいろなコーチに感謝してます。
これからも ラグビーを続けて頑張ります。

卒業

6年 海老原 銀次の母

六年生のみんな卒業おめでとう！そしてこれまで沢山のご指導して頂いたコーチの方々保護者の方々本当にありがとうございます。
私が、麻生ラグビースクールと出会ったのは私の兄と弟が卒業生で、二人の試合を応援に行った思い出があります。今では、家族が銀次の応援に来てくれてみんなの練習や試合と一緒に応援できてとても楽しい時間でした。過去の事を思い出すと沢山あり過ぎて 伝えきれないほどあるけどファイナルカップでのみんなの活躍とても感動しました。辛い練習・ケガもあったと思います。よくやった！
仲良く楽しく一緒にラグビーをしてくれた仲間みんなに感謝。感謝。
みんなは中学生になり、ラグビーを続ける子、違う道に進む子、色々だと思います。
新しい自分目標に向かい頑張ってください！
これからのみんなの活躍が楽しみです。卒業おめでとう！

麻生ラグビースクールでの2年間で振り返って

6年生 森 天

僕は、5年生の春からラグビーを始めました。
5年生のころは、なかなか勝てず悔しい思いばかりしていました。
でも、6年生の夏合宿で、みんなの士気があがり、県大会は絶対勝とうと思っていました。
ところが、戦績は1勝3敗。とても悔しかったです。
ファイナルカップで、横須賀と試合するとわかったときは、絶対にリベンジしてやると思いました。結果は、引き分けだったけれども、とてもうれしかったです。
2日目もみんなで全力で戦い、ボール戦で優勝できました。最後の公式戦を、みんなで楽しく終わってよかったです。
僕は、これからもラグビーを続けて、みんなの支えになる選手になりたいです。
ご指導いただいたコーチのみなさん、2年間本当にありがとうございました。



ゆうしょうおめでとう

1年 森天 弟 琉(りく)

おにいちゃん、しあいかててよかったね。ゆうしょうおめでとう。



ありがとう

6年 森 天の母 和恵

6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。

森家がラグビーと出会ったのは、2年前です。天から「お母さん、ラグビーというスポーツがあるらしいんだけど」と言って、同級生から誘われた麻生RSに体験に行きたいという話からです。

天の体格から、向いているかもしれないと思い、早速体験させてもらいました。

学年で入校21番目となり、すでに5年生ということで、みんなに受け入れてもらえるだろうかという心配は一瞬のうちに消えました。

親子共々、本当に素敵な仲間に出会い、ラグビーに魅了され、楽しい2年間を過ごすことが出来ました。卒業と思うとさびしく、この仲間ともっと早く出会い、もっとたくさん一緒にラグビーを楽しみたかったと思っています。

が、大勢がこの後DAGSでも会えることになりそうで、これからもまたみんなを応援できると思うと、ワクワクしています。

校長をはじめ幹部の皆様、コーチの皆様、のご尽力には、とても感謝しています。ありがとうございました。お世話になりました。また、行事などのいろいろな場面でお世話になった5年生のご家族の皆様にもお礼申し上げます。ありがとうございました。

天を麻生RSに誘ってくれた太陽、本当にありがとう。感謝しています。

そして6年生チームのみなさんありがとう！！これからもよろしく願いいたします。



素晴らしいスポーツに出会えたことへの感謝

6年 森 天の父 敦

天がラグビーをはじめ、2年になりました。

はじめは、続けられるのか？と疑問に感じていましたが、大層興味を持って見学したり、練習に行く様子を見てみると、ご指導頂くコーチの皆さま方の応援もあり、一生懸命な様子が見られたので、しばらく見守ることにしました。

そんな中、天がよりラグビーにはまるようになったきっかけは、5年生の夏合宿打ち上げの席で聞いた一言だったと記憶しています。

「よりレベルの高いラグビーを観るといい」という、某熱血Tコーチのアドバイスに従い、TOPリーグはもちろん、日本代表戦にも出かけるようになり、選手の名前を覚えたり、

試合で観たプレーを真似たり、どんどん吸収し、面白いように成長していく様は、とても気持ちがよかったです。(まあ、はじめは0だったのですから、当然かもしれませんが)

私は、元々大阪出身で、中学校にもラグビー部があり、割と身近に存在はあったものの、スポーツとしてやった経験は0(ゼロ)。自主練に付き合おうにも、勝手が分からず困っていたので、お手本や目標となるプレーを観て学べるきっかけを教えてくださいました。天にもいい影響があったんだと、感謝しております。また、全力の出せるようになるきっかけを頂いたのも6年生で参加した、菅平合宿でした。長年やってきた水泳の大会でも、全然本気でやっている様子を見るのができなかったのですが、夏合宿の練習で校長に喝を入れてもらってから(2015年夏合宿号参照)、天自身も精一杯本気を出してぶつかっていくことができるようになり、夏合宿以降、一皮むけて成長できたのだと思います。おかげさまで、チームでもそれなりに頼りにされ、試合で頑張っている様子は、ちょっぴり頼もしく感じられるようになりました。

天は、DAGSでラグビーを続けたいと申ししており、いまの仲間たちと一緒にまた頑張るようですので、今後も成長を願い、応援していきたいと思えます。

最後になりましたが、麻生RSコーチの皆様、ご父兄の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。恵まれた環境で、様々なご支援とご指導を頂き、天がとても素晴らしい時間を過ごし、いい仲間と出会ったことに感謝致します。



卒業にあたって

6年 中島 知己

今までありがとうございました。

2年生から入りましたが、最初はあまり興味が持てませんでした。でも、色々なチームと交流試合をしていくと、負けられない、という気持ちをもつようになりました。たくさんイベントがあり、とてもラグビーしやすいチームでした。

中学でラグビーをやるのかわからないけれど、これからも負けられない気持ちで生活していきます。

卒業にあたり

6年 中島 知己の父母 清徳*広美

三浦校長始め、コーチの方々には、本当にお世話になりました。

本人は、甘やかされている一人っ子で、気の弱い一面があり、毎回、「練習には行きたくない。」と言っていたのですが、ほぼ5年間、通い続けられたのも、指導に当たってくださっている皆さんと、チームメイトのおかげだと、感謝しています。

私自身が練習や試合を見に行くことはありませんでしたが、本人や母親の話、あるいは父兄の皆さんが

撮影した映像で、楽しい様子が伝わってきました。わが子ながら、結構しっかりやっているな、と感じていました。

これから中学生になって、本人がラグビーを続けていくのかはわかりませんが、母親ともども、スポーツを続けさせていこうとは思っています。

本当にありがとうございました。

卒業までの8年間

6年 原田 太陽

今、8年間続けたラグビーが終わろうとしています。自分ではやれるだけのことはやり、後悔はない良い8年間だと思っています。まだ、1年、2年位だった頃は、ボールをもらえば簡単にトライを決められたけれど、学年が上がるごとに、1人では抜くことが出来ない場面が増えてきました。それに、怪我也続き、3年、4年の時は走ることが出来ず、県大会でも、出れても前半のちょっとだけで、とても満足することはできませんでした。怪我也回復し、5年になった時ポジションがスタンドからウイングに変わりました。最初は、一番外のボールが回ってこないところかと思ったけれど、やってみると結構ボールも回ってきて、相手を抜けると楽しかったです。5年の夏合宿でやった、チェンオブペースや、スワープなども多用できて良かったです。

6年になってもポジションはウイングでした。去年よりも、何倍も厳しい練習に耐え、確実にパワーアップすることができました。ラグビーを、やっていて楽しいと思えたのもこのころです。

とうとうやってきた最後の公式戦ファイナルカップ、調子も良く、練習もいつも以上に、気合を入れてやっていたので先発に入れると思っていたのに、まさかのリザーブ...

悔しくて、悔しくてたまりませんでした。

でも、チームがボウルの部で優勝できたので、全てを出したと気持ちよく終わることができました。

色々あったけど、楽しい8年間でした。

卒業を迎えて

6年 宮澤 樹

僕は、年中からの8年間、ラグビーを学んできた麻生ラグビースクールを卒業して、中学ではDAGSに入ります。麻生では、合宿や県大会などの事に参加する事ができました。試合では、今まで一回も勝てなかった相手に6年になって勝てるようになりました。それは指導して下さったコーチのおかげだと思っています。僕自身も、努力はしていたけど、大事な時にぬかれてしまったり、ミスをしてしまったりすることもありました。だけど、ファイナルカップでボウル戦の決勝戦まで勝ち進み、先制のトライを取ることができて、優勝できたのは本当にうれしかったです。中学に入っても、DAGSで厳しい練習に耐えて、体の大きい相手との激しい試合にも負けない選手になりたいです。

感謝

6年 宮澤 樹の父 秀毅

濱田チーフコーチをはじめ、6年生を指導して下さったコーチの皆さん、ありがとうございます。

長男が入校したころ、まだ2歳でしたが、王禅寺のふるさと公園で、ボールを追いかけていたのを思い出しました。

“ぴよん”と飛んでから走り出していた子が、タックルを受けても、必死に前に行こうとしていたり、自分より体の大きい子にタックルにいったりと、見ていない間にずいぶん成長したなと感じました。

これからはずっと、ラグビーをやっていてもらいたいですが、何らかの形でラグビーに関わってくれたら、いいと思いました。

ラグビー生活を振りかえって

6年 久松 豊夢

僕は、最初にちょっと緊張してラグビーに入ったけど、2年間ラグビーをやってすごく楽しかったです。最後のファイナルカップでも、試合ができて良かったです。後少しの練習も、頑張ります。

卒業にあたって

6年 久松 豊夢の母 里紗

お友達の紹介で始めは体が動かせればと思いはじめたラグビー。始めはルールも分からず何をすればいいかも分からなかった豊夢。今ではルールを教えてもらってラグビーの楽しさも教えてもらうほどになり体も心もラグビーで成長してくれました。これもコーチをはじめ、友達がいてくれたこそだと思い感謝しています。ラグビーを入れてから一度も練習に行きたくないと言ったことがなくよく頑張ったと思います。2年半とみんなよりラグビー経験は少ないですがファイナルカップに出させて頂き素晴らしい経験をさせて頂きとても感動しました。暖かく見守って頂いたコーチ方、途中から入ったのに受け入れてくれたお友達。お父さん、お母さんたち。本当にありがとうございました。

麻生ラグビースクールでの5年間を振り返って

6年 小高 佑

僕は2年生になってすぐに麻生ラグビースクールに入りました。ラグビーは最初はとても激しいスポーツだなと思いました。2年生の頃と比べるとコーチも厳しくなったと思うし、僕も精神的に成長できたと思います。ファイナルカップではボウル戦で優勝できて良かったです。コーチの方々ありがとうございました。そして、これまでラグビーをいっしょにやってくれたみんなもありがとう。

卒業

6年 小高 佑の父 聡

校長をはじめスクールの皆様、コーチの皆様、また2016年卒父母の皆様、大変お世話になりました。また、6年のみんな、卒業おめでとう。初めてスクールに連れて行ったのがタスクが2年生の春。当初いつまで続くかなと思っていたのですが、なんとかスクールの卒業式を迎えられるのは皆様のおかげです。ありがとうございました。低学年の頃隣のグラウンドでみる6年生のプレーは本当に輝いていて、この子らは本当にあのようになるのか、いつも心配していましたが、見事、今の6年は立派なラグーマン・ラグールになって輝いていたと思います。タスクの学年は6年で優勝を掲げていたので大会の成績という意味では達成できませんでしたが、ファイナルカップの横須賀戦は掲げた目標と相応の内容だったと思います。また、なるべく全員出場の精神も貫いたのも良かったと思います。おそらくコーチの中では様々な葛藤があったとは思いますが、ラグビーが好きで、まとまりのあるチームになったと思います。タスクのプレーも特に県大会以降、相手にジャッカルさせまいと奮闘しノットリリースザボールのペナルティを取られたり、いち早くフォローに入って相手を押し返す姿に勝ちたい気持ちやフォアザチームの精神を感じ、感慨深いものがありました。(すみません、マニアックで！笑) 麻生でのびのびとラグビーを楽しめたせいか、タスクはDAGSでプレーすることを選びました。小2の入校の時は私の希望もあってのことでしたが、自分で続けることを決めました。今後も色々ご面倒お掛けするかと思いますが、よろしくお願いします。

卒業

6年 池田 昂生

1 番の思い出

4年生に時、友達に誘われて麻生ラグにスクールに入りました。初めは、みんながやっていることが難しく思えて不安な気持ちでいっぱいでしたが、コーチや仲間に教えてもらい少しずつラグビーが楽しくなってきました。1 番の思い出はファイナルカップです。1 日目で悔しい思いをした分、2 日目のボウル戦ではその思いをぶつけて、みんなで優勝を勝ち取りました。とても嬉しかったです。中学生になったら DAGS で頑張りたいです。

1 番感謝したい人

6年 池田 昂生の 母

4年生の6月からお世話になりました。昂生だけでなく親もラグビーのことを何も知らず、「ラグビー」だと思っていたくらいのも母です。ルールもさっぱりわからず、いつもくだらない質問に根気よく教えてくださいました。コーチやチームのママたち、ありがとうございました。思い起こせば、試合中大声を出しすぎて昂生から「静かにしてっ」と言われてシュンとしたこと、チームでパスがうまく回った時の嬉しい気持ち、合宿のランパスに参加した時の達成感、寒さ暑さに負けずグラウンドで応援しつつママ話に花を咲かせたこと、いろんなこと思い出します。

コーチ方には、時には暖かく時には厳しくご指導いただいたこと感謝しています。中学生になる息子がこれからどんな道に進むのかわかりませんが、麻生RSでの経験はきっと大切なものになると思います。ありがとうございました。でも1番にありがとうを言いたいのは、コーチのご家族にです。土日ごとに大事なパパさんを出していただいて本当にありがとうございました。みなさん最高に素敵な旦那様ですね。

卒業

6年 神下 弘太郎

ラグビーは十年やっています。ふつうは長くやっていたらその分上手くなると思いますが、ラグビーはそういうスポーツではないと思います。いくつかある選択肢(パス・フィジカル・ラン・タックル等々)の中から自分にあったものを選び、練習の時にそこに注力するか、いかなれば集約力みたいなものが必要だと思います。それが自分には欠けていたのだと思います。それは日常でも、言われた事をちゃんと出来なかったり、大事なテストで本領を発揮できなかったり、しかしだからしょうがないという事にはなりません。それは明白な実力です。それが出たのがファイナルカップ第一戦横須賀さんとの試合でした。前半の最後2対2、ライン際の所で体の大きい一人目で自分のトイメンの子が押し切ってトライした時がありました。その時自分 は外に切ってしまったのです。練習時さんざん基本として敵を倒せと言われていたのにもかわからず。

実は自分は内心では今年のチームならプレート優勝や、カップ戦出場も大言壮語ではなく夢ではないと思っていたのです。しかし、それを自分でつぶしてしまい、結果的にはボウル戦優勝という結果に終わってしまいました。

ではこれからどうするのか。中学に入ってもラグビーは続けますが、中学に成れば体格もみんな大きくなるし練習もハードになります。ますます集約力 のない人は取り残されるばかりだと思います。だから基礎の基礎まで立ち返ってまずは日常から。

よく麻生の三浦校長はこう言います。「俺らはラグビーだけを教えてるんじゃないんだ。人の日常の礼儀をも教えてるんだ。」と。それを自分もしっかりと実践していこうと思います。

卒業

6年 神下弘太郎の父

よく最後まで続けてくれました。たくさんの忘れ物や失くしものをしましたが、その代わりにもっとたくさんものを身につけ、成長してくれました。

病気が多かった子が、真冬でもランニング一枚でうろうろし、風邪もひかなくなりました。

ラグビーの練習や試合へは一度嫌がったり、辛そうにしたりせずに通いました。

6年生や他学年の先輩、後輩の仲間とコーチのみなさんから(忘れ物も 含めて)見守ってもらえ、素晴らしい時間と経験を分けてもらえたからだと思います。

どうもありがとうございました。

卒業にあたり

6年 都留 光平

一年生の時にラグビーを始めた。
その時は軽い気持ちでやっていたが、初めてトライをした時や初めて自分よりでかい相手をたおした時に楽しいと思えるようになった。
そして、ここだけは負けたくないと思う所も出てくると、さらに楽しくなった。
だからラグビーを中学生になっても続けていきたい。

卒業にあたり

6年 都留 茉奈実

私は受験組だったので、夏合宿後から練習に来る事ができませんでした。
久しぶりに戻ってきた日、私が動きをわすれていると仲間がアドバイスをしてくれました。そんな良い仲間に出会えてほんとうによかったと思います。また、早く走る事やパス回しをする事が苦手な私に、声を出す事や、タックルを強くするこつ等を教えてくれラグビーを好きにさせてくれたコーチの皆さんありがとうございました。
中学に入ったらラグビーでない違うスポーツをやるつもりですが、麻生で学んだ礼儀やコミュニケーションをだいにしてがんばりたいとおもいます。

麻生での 10 年間

6年 竹川 正剛

僕は父に連れられて2歳からラグビースクールに通いました。
気付いたらラグビーをやっていた感じですが10年間を振り返ると厳しく辛いこともあったけど、うれしいこともありました。
この仲間とラグビーが出来てうれしかったです。
思い出に残っていることは夏合宿とファイルカップです。
夏合宿ではたくさん走ったり厳しい練習を乗り越えたからこそ、チームワークや自信がついたと思います。
最後のファイルカップでは2試合に出場しトライを取るつもりで精一杯やり切りました。ボウルカップ優勝というカタチに残ってとてもうれしいです。
ぼくは中高生になってもラグビーをつづけるので麻生ラグビースクールで学んだことを生かしていきたいと思っています。
いままでお世話になったコーチや両親に感謝しています。ありがとうございました。

卒業に向けて

6年 萩原 起

6年間での一番の思い出は、ファイナルカップです。結果はボウル戦優勝でした。優勝はしたけど、一番下のリーグだからすごく悔しいです。
横須賀戦で、前半のラストプレイで横須賀がトライしました。その前にぼくがボールを出してしまいました。そこで出さなければ勝てたかもしれません。だからそこが悔しいです。他にも、ちがうプレーで自分ももっと声を出して、しっかりタックルできていれば勝てたかもしれません。
結果は最下位リーグ優勝でちょっと残念だけど、ぼくらにとって初めての優勝なのでうれしかったです。このファイナルカップでの経験を中学でも活かしていきたいです。

卒業おめでとう

6年 萩原 起の母 信子

起はずっと「ラグビーは小学校でやめるよ」と言っていました。中学で続けている兄が、ラグビーの練習から帰って部活に行く大変そうな様子を見て無理だ〜と思ったのかもかもしれません。まあそういう道もある、と家族は半ばあきらめていました。そんな起が中学でもラグビーを続けると言うてくれました。もう少し、ラグビーをしている起を見ることができ、嬉しいことです。

コーチ、仲間、ご父母の皆様を支えていただいて、ちょっとカッコつけて汚れることの苦手な起は成長してきました。よい人たちに会うことができたこと、心から感謝しています。

そして最後の最後に嬉しい結果を出せたこと、今まで頑張ってきた息子とその仲間たちを、たくさんほめてあげたいと思います。感動をありがとう。そして卒業おめでとう。

卒業

6年 京屋 光琉

7年間、ラグビーをやってきて、一番印象に残った出来事は、1年生の時の夏合宿です。試合の時に、相手チームに上の学年の体の大きな人がいて、みんな、すぐにはじきとばされていました。だけど、コーチが「みんなで止めろ！」と言って、みんなで必死につかんで止めました。試合は負けただけ、みんなで力を合わせて止められたのが、めっちゃうれしかった。今でもすごく覚えています。ファイナルカップは、骨折で試合に出られなくて、悔しかったです。もう一年、中学でもラグビーをがんばってみようと思います。

四年間やったラグビー

6年 坂脇 優来

私は、二年生からラグビーを始めました。きっかけは、従兄弟が麻生ラグビースクールに通っていて、体験に参加してみたら楽しかったからです。

そこから、毎回練習に参加する度に少しずつできなかつたことができるようになり、上達していきました。上達すればするほど、練習も試合も楽しくなっていくことが分かりました。試合で仲間と一緒に努力して勝ったり、また負けたりもしましたが、それも楽しかったです。

私は一度だけキャプテンを務めたことがありました。初めてなので、何をしたらいいのかよく分かりませんでしたが、声だけは頑張って出すようにしました。

最高学年になった時、受験でなかなか練習にも参加できず、体の動きが鈍くなってしまいました。練習に参加できるようになったのは、ファイナルカップまであと5回の練習しかない時です。頑張って元の体力を戻そうとしましたが、完全には戻りませんでした。ファイナルカップ当日、私はレギュラーにはなれなかったけれど、試合ではできる限り走って止めたり、フォローしました。みんなで頑張って、3位優勝することができました。

私は個人競技よりも、チームプレイのスポーツが好きです。ラグビーでは支え合いながら、誰かがトライしたらその喜びを分かち合えます。チームプレイではそういう思いがあふれていて、それがとても楽しく感じられるので好きです。

麻生ラグビースクールを卒業したら、ダックスに入ろうと思っています。

ラグビーを始めてから卒業するまで

6年 小崎 陽太

ラグビーを始めたのが遅く、少ししかみんなとラグビーができなかったけど、みんなやコーチに教えてもらい少しは上手くなったし、楽しくできたので、すごくいい思い出になりました。

あるべき姿

6年 小崎陽太の父 義洋

陽太が麻生ラグビースクールにお世話になり始めたのは去年の6月でした。こんな時期にラグビー初心者陽太が入団して皆さんにご迷惑をおかけしないか不安な気持ちでした。しかしコーチの方々は何も知らない陽太にも優しく、時に厳しく、気を遣いながらも分け隔てなく指導してくださりました。

チームの仲間も邪魔者扱いすることなく、チームの一員として受け入れてくれました(多分)。また保護者の皆さんも人見知りでも何もない私を優しくフォローして下さり、安心して陽太を通わせることができました。

私が驚いたのは麻生ラグビースクールに関わる人たちの「熱い気持ち」でした。
全てのコーチがいつも真剣に、誠実に、自分に厳しく、どうすれば子供たちがもっと良くなるのかを考えて、
できる限りのことをやってくれていると感じていました。
そして、それに呼応するように保護者の方々もコーチと子供たちをバックアップするために非常に積極的に、
一致団結して、楽しみながら活動されていました(私は全くお手伝いに参加せず申し訳ありませんでした)。
みんな熱い！これこそが地域のジュニアスポーツ活動を支える団体の「あるべき姿」だと思います。
陽太は短い間しかお世話になれませんでした。今後も麻生ラグビースクールが素晴らしい団体であり
続けることを願っています。
ありがとうございました。

麻生ラグビースクールの7年間を振り返って

6年 村松 京弥

ぼくが、ラグビーをやったきっかけは、銀次に誘われてやって楽しかったからやりました。
ラグビーの一番の思い出は一番最初にとったトライが心に残りました。なぜかと言うと最初のトライは2回
目よりもすごくうれしかったからです。
ファイナルカップでの感想は、優勝はできなかったけど自分達それぞれの個性や技術がでていい試合だ
ったと思います。
中学に向けて頑張る事は、体力をつけて常に周りを見て行動したいです。そのためによく運動をして周り
を見ながら行動することが中学に向けて頑張ることです。

卒業にむけて。

6年 村松 京弥の母

突然、去年の夏合宿が終わって何気ない会話で、『俺、中学行ったらラグビーやらないよ。もう、十分やっ
たし、いいでしょ』と、その言葉に、それ以上返す言葉が見つからず、とてもショックだったのを覚えてま
す。
私は、続けてくれるものだと思っていたので、6年最後の県大会は、チームのみんなと円陣する姿、掛け
声全てがじーんと熱い思いが込み上げてきました。もう息子の試合が観れなくなるかもしれない、中学で
のラグビーをする姿も観れないかもしれないから・・・
でも、そんな息子の気持ちを変えるきっかけになったのがファイナルカップであり、コーチ達であり、共に
頑張ってきた仲間の友情だったと思います！
京弥がラグビーをこれからも続けると自分で決めた事、その意志が大事だしその言葉を待ってました！自
分から本気で頑張れる何かをこれから見つけてくれたら親として嬉しい限りです。
最後に、ラグビーに出会えた事、出会わしてくれた人、ラグビーを通して子供も私も心身共に成長できたこ
と、このスクール全て関わった方々に本当に感謝したいと思います。
ありがとうございました！

麻生ラグビースクールでの6年間を振り返って

6年 濱田 昂輝

早いもので僕が麻生ラグビースクールに入って6年が経ちました。
ふだんの練習や合宿で他のチームメンバーと一緒にプレーできたことはとても良い思い出です。ラグビー
をとおして学んだことをいかして、これからもがんばりたいと思います。
ありがとうございました。

息子の卒業にあたって

6年 濱田昂輝の父 和弘

この6年を振り返ると本当に色々な事がありました。昂輝が低学年の時には親コーチとして一緒にプレーさせてもらったり、合宿では毎年麻生ラグビースクールの一員として充実した時間を過ごす事が出来て大変感謝しております。

最終学年の後半は受験もあり、なかなか練習や試合に出られず残念でしたが、学びの多い6年間でした。三浦校長をはじめ、コーチの皆様、一緒にサポートして下さった保護者の皆様にあらためて感謝いたします。

子どもの卒業という形で一つの区切りを迎えましたが、2019年の日本でのラグビーワールドカップ開催に向け、私自身も何らかの形で引き続きラグビーに携わってゆきたいと考えております。お世話になりました。本当に有り難うございました。

5年生

小学部 修了おめでとう

5年チーフコーチ 伊藤 信一

6年生のみなさん小学部 修了おめでとうございます。そして、ファイナルカップでのボウル戦優勝おめでとうございます。最後の大会で見事にタイトルを獲得できた事はスクール史上初であり、見事な功績ですね。FCへ向けての毎週末の特別練習会には5年生も参加させていただき、みなさんのFCにかける思いと集中した取り組み、気迫のプレーを目の当たりにし、5年生メンバーにも大変良い刺激になりました。タイトル獲得とあわせて麻生RS6年生として後輩たちへ素晴らしい影響を与えてくれました。感謝申し上げます。

一方では、合同練習を行って来たグリーンRSはカップ戦の準決勝で強豪横浜RSを破り、決勝戦では過去2度優勝をしている田園RSを相手にFC史上語り継がれる様な激闘を見せてくれました。中学部になると、そんなグリーンRSのメンバーと一緒に神奈川DAGSとしてラグビーを続けることが出来ます。

コーチとしてだけではなく今年中学部を卒業する息子を持つ父親の立場としても、皆さんには、ぜひ中学生になってもラグビーを続けて欲しいと思います。当然、練習はキツくなって行きますけども、3年間一緒に頑張ってきた仲間は一生ものになります。どうせならそんな仲間は多い方が良いですよ。君たちなら中学部でも十分に通用する素質は持っていると思います。側で見ていて本当にそう感じました。これから皆さんが新たなステージで活躍される事を祈念しております。

息子の卒業にあたって

6年 竹川正剛の父 / 5年コーチ 竹川健次

いつも大変お世話になります、5年生コーチ(新6年生コーチ)の竹川です。

2016年ファイナルカップが終了いたしました。息子(6年生)の正剛も出場し、『ボウル杯優勝』という最後の大会にして初のタイトルを獲得できました。(戦績:3勝1敗1分け)この学年は、今までタイトルに無縁だったかもしれません。そういう意味では、今回の結果は大変満足しております。子供達もそうだと思います。。。 (かな?)

2月に入って受験組が戻って来て、ファイナルカップまで2週間しかありませんでした。しかし、チームとして急激にレベルアップし、大会では素晴らしい試合内容で勝つことが出来ました。実力的には、プレートでも優勝できたかもしれませんが、ラグビーに“たら”、“れば”はありません。これも実力に内でしょう。。。いずれにしても最後の大会で、6年生の子供達の“成長”を見ることができ、親として本当にうれしく思いました。6年生コーチの皆さんにお礼を言いたいと思います。

愚息の正剛は、2歳から麻生RSにお世話になり、早10年の月日が経ちました。卒業にあたって、“感謝”の言葉しかありません。“毎週日曜日に仲間と一緒にラグビーをする”、という環境は、ラグビー好きの親父として申し分ありませんでした。当時は『王禅寺小学校』、『ふるさと公園』で練習をしていました。とても懐かしい思い出です。現在は、日大稲城グラウンド。他のラグビースクールが練習場所確保に苦慮する中、とても恵まれた、素晴らしい環境です。三浦校長以下幹部の方々に感謝しなければなりませんね。

数々の思いである夏合宿も幼稚園時より参加させていただきました。息子は菅平高原へは既に8年通っております(笑)。厳しい練習で泣きながらタックルしていた息子が、今では大きくなって(体重が増えすぎたかもしれませんが、、、)胸板も厚く、おしりも太もももガッシリとなり、親として頼もしい限りです。このまま健康に成長して欲しいと思っております。

実は、竹川家はこの春大阪へ引っ越しする事になります。息子は、残念ですが仲間と一緒にDAGSには行けません。しかし、大阪のラグビースクールに所属しラグビーは続ける予定です。またいつの日か麻生

RSの仲間と再会できることを夢見て私も含めて、麻生RSを卒業させていただきます。10年間お世話になりました。本当にありがとうございました。

最後に、私がコーチさせていただいた新6年生の君たちへ

竹川コーチは、大阪に留まることになります。今までのように君たちと練習する事が出来なくなります。しかし、君たちのことは決して忘れません。今後は、伊藤コーチ初め、6年生コーチの言うことを忠実に守って練習に励んでください。そして、キャンソップ、リコーカップ、県大会、ファイナルカップ、4冠を目指して頑張ってください。

勝利への近道は、練習しかありません。是非、“次代を背負う若者”に育ててほしいと思っております。そして、地獄の夏合宿で会いましょう！そして、目指せ、日本代表！

ラグビー続けてネ！

5年コーチ 外岡 幸隆

現6年生とは、よく練習試合やアタックディフェンスを行い、胸をかしてもらいました。夏までは、5年生も数本トライが取れましたが、夏合宿以降の6年生は、急成長を遂げ、全く歯が立たなくなりました。外岡は、ファイナルカップの6年生VS横須賀戦しか見られませんでした。よくディフェンスで守りきり、アタックではタテの強みを生かし、2-2の引き分けに持ち込んだ試合でしたが、感動しました。

中学行ってもラグビーに関わってくださいネ。ラグビーは、人気は急上昇していますが、競技人口は少ないスポーツですので、続けていると、別れ別れになった仲間たちと、また出会えるチャンスが多いスポーツです。外岡家は、長男が、小学1年生の時、転勤で、関西に1年だけいましたが、その時の芦屋ラグビースクールの仲間達と、菅平で出合ったり、また同じチームになったり、ライバル校同士で戦ったり(明治2、関学2、早稲田1)と、ステキな出会い(親も含めて)が続いています。コーチ達も大きくなった皆さんに何らかの形で会えることを楽しみにしています。

卒業生への感謝

5年 原田 康誠

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。僕は、5年生でキャプテンをやっていて、6年生の皆さんから学ぶことがたくさんありました。特に銀次くんや、そらくんには、キャプテンとして大切なことをたくさん教えてもらいました。

また、ぼくたちと一緒にADをやってもらえたことで、試合前に自分たちの問題点を見つけることができました。しかも6年生はADの中でも僕たちに色々な課題をだしてくれました。

僕はこの一年、6年生と試合をたくさんさせてもらって「来年はこんな選手になりたい」と、思いました。だから、来年一年を精一杯プレーします。最後に、今まで本当にありがとうございました。さようなら。

卒業する先輩方へ

5年 石井 晃

6年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。

ラグビーがとても上手で、体もがっちりしていて格好いいなあいつも見ていました。

僕もそんな先輩になれるように頑張っていきたいと思っています。

6年生の卒業にあたり

5年 石野 創太郎

僕はファイナルカップで6年生の試合を見て、パスが速くてタックルが正面から行けていてすごいと思いました。

普段の練習の時も真剣にプレーしていて、気を抜かないところを見習いたいです。

練習試合の時は、僕たちができなかったプレーを言葉で説明してくれたり、実際のプレーで示してくれた

ことに感謝しています。

次は僕たちが6年生になる番なので、今の6年生のように皆の見本になるようにやっていきたいと思いをします。

6年生のみなさんへ

5年 卯月 快杜

6年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。
そしてファイナルカップボウル戦優勝おめでとうございます。
僕たちも頑張るので、中学生になっても頑張ってください。
いままでありがとうございました。

6年生の皆さんへ

奥川 煌星

ご卒業おめでとうございます。
合宿では、起こしてもらったり、ご飯を一緒に食べたり、お世話になりありがとうございました。
次は僕たちが最高学年になり、ラグビースクールのお手本になりたいと思います。中学に行っても、頑張ってください。

卒業おめでとうございます

5年 斎川 春朗

ご卒業おめでとうございます。
6年生と試合したときはトライが全然とれなくて、6年生はやっぱり強かったです。
ファイナルカップはボウルせん優勝おめでとうございます。
横すかと、試合をした時はおしかったです。
次ぼくは6年生になるのでみんなをひっぱっていきたくです。中学になってもがんばってください。

6年生への感謝とこれからの自分

5年 佐藤 祐太郎

6年生のファイナルカップの試合は、いつもの試合より気合いが入っていてすごかったし、プレーでも積極的にタックルにはいっていたり、あきらめないで追いかけていたりすごかったです。ぼくもあんな試合をしたいです。
6年生になったら足を速くして追いかけて行って相手を止めていきたいし、サインプレーのせいで上げていきたいです。新しく入ってきた人にもいろいろとアドバイスをしたいです。
6年生、いままでありがとうございました。

6年生のみなさんへ

5年 佐藤 仁紀

これまで、一緒に練習をしてくれてありがとうございました。特に土曜練習では、いつもやさしくしてくれたので、練習が楽しくできました。
卒業おめでとうございます。

お手本

5年 菅田 光真

ファイナルカップで6年生のぎんじさんが、相手がボールを持ってぬけても、あきらめずに走って止めたところが、とても印象に残っています。
合宿では、6年生のみなさんが練習相手として対戦してくれたおかげで、ラグビーが上達したように思います。ぼくは6年生をいいお手本だと思っています。そのお手本を目標にラグビーをがんばっていきたくと思いをします。

6年生の卒業にあたり

5年 畑佐 健太郎

今までありがとうございました。一緒に練習したときは楽しかったです。
またアドバイスなどいただいてありがとうございました。麻生RSのことを忘れないでください。

6年生全員の人

5年 土方 将嗣

ぼくは、5年の時に、6年生に一番色々なことをおしえてもらいました。
特に、キャプテンのぎんじに色々なアドバイスをしてもらいました。
そのおかげで自分でもラグビーのプレー中、トライにつながるパスができるようになりました。
これからもたくさん勉強して、もっといいプレーをしたいです。

6年との一番の思い出は、日野のグラウンドでみんなで試合を見たことです。
その時に6年とよく話して、仲よくなれました。
卒業してもラグビーをがんばってほしいです。

6年生を送り出す言葉

5年 森下 響介

6年生の皆さん。ご卒業おめでとうございます。
ファイナルカップとてもかっこ良かったです。

【新任コーチ紹介】

4年コーチ 森下 誠治

2015年12月より息子の響介が麻生ラグビースクール5年生に入校させて頂きました。

高校時代に私がラグビー部に所属していた事もあり、やってみたいと2年前よりせがまれており、HPで当スクールを発見し、体験に参加しました。しかし、その日のうちに手の指を骨折するというハプニングから始まりましたが、空手ばかりやってきた響介にとって、ラグビーは、想像以上に楽しく、週末が楽しみでしかたないそうです。

これも、そのような環境を作り出しているコーチ陣の皆様、仲間思いのチームメイトがいる麻生ラグビースクールだからこそ！と感じております。

私も全力で子供達のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

しかし、20年ぶりの運動で、毎週練習後は筋肉痛との戦いに苦戦しております・・・



グリーン・大和交流戦

月日：11月29日(日)

場所：日大稲城G

[1年生]

麻生B ●20 - 35○ グリーンB
麻生A ○35 - 15● 大和A
麻生C ○30 - 20● グリーンAB
麻生B ○35 - 10● グリーンB
麻生C ○30 - 15● 大和A
麻生A ● 0 - 10○ グリーンA

[2年生]

麻生B ●20 - 50○ 大和B
麻生A ●20 - 35○ グリーンA
麻生A △15 - 15△ 大和A
麻生B ●15 - 45○ グリーンB

[3年生]

麻生 △20 - 20△ グリーン

[4年生]

麻生 ○30 - 10● グリーン

[5年生]

麻生 ●20 - 45○ グリーン

[6年生]

麻生 ●30 - 45○ グリーン

大和交流戦

月日：12月23日(水祝)

場所：大和市ゆとりの森
サッカーラグビー場

[5年生] (ハーフ)

麻生 ● 5 - 25○ 大和
麻生 ●15 - 20○ 大和
麻生 ● 5 - 30○ 大和

[6年生]

麻生 ○40 - 5● 大和

グリーン交流戦

月日：1月31日(日)

場所：日大稲城G

[3年生]

麻生 ● 0 - 35○ グリーン
麻生 ● 0 - 35○ グリーン

[4年生]

麻生 ○60 - 25● グリーン

[5年生]

麻生 ○50 - 25● グリーン

[6年生]

麻生 ○30 - 25● グリーン

交流試合

月日：1月31日(日)

場所：海老名 中野人工芝G

参加：麻生RS、グリーンRS
海老名RS、逗子葉山RS

[幼稚園]

麻生 ● 5 - 15○ グリーン
麻生 ○15 - 5● 海老名
麻生A ○15 - 5● 麻生B
麻生 ○15 - 5● グリーン
麻生 ○20 - 15● 海老名

[1年生]

麻生A ○45 - 30● グリーン
麻生B ○50 - 35● 海老名
麻生C ○35 - 30● グリーン
麻生A ●35 - 40○ 海老名
麻生B ○40 - 25● 麻生C

[2年生]

麻生 ○75 - 10● 海老名
麻生 ○60 - 25● グリーン
麻生 △35 - 35△ グリーン
麻生 ●20 - 45○ 海老名

第6回神奈川県ミニラグビーファイナルカップ 組合せ及び試合結果

大会開催日 : 2016年2月20日(土)、21日(日) 2日間

大会会場 : 1日目: 海老名運動公園陸上競技場

2日目: 海老名運動公園陸上競技場

第1日目

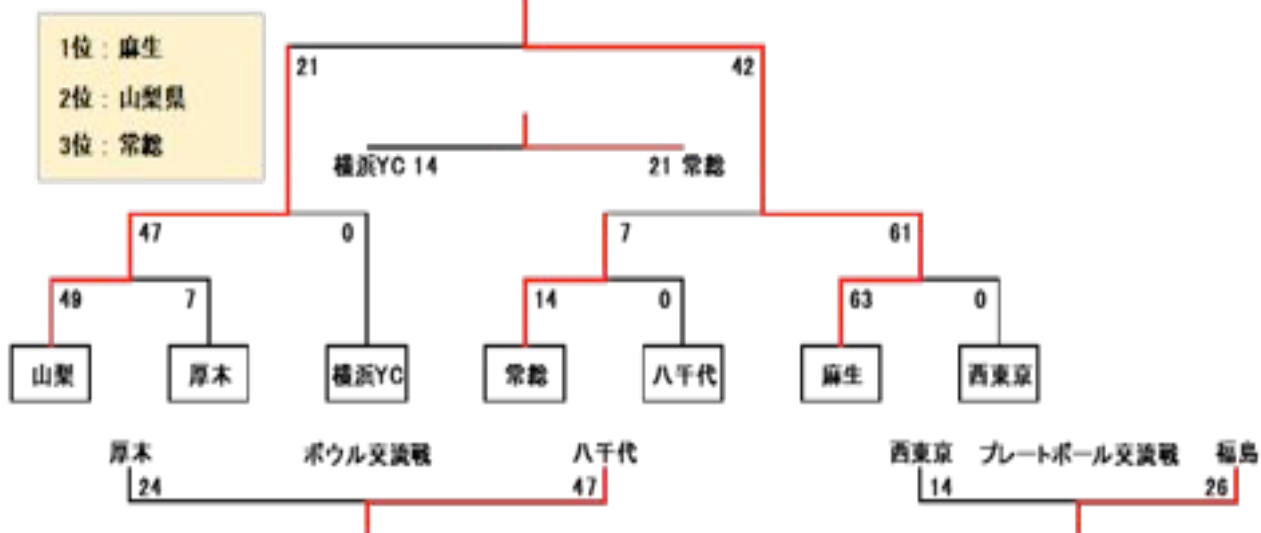
Cグループ

Cグループ	麻生	横須賀市	新潟市	
麻生		△(14-14)	●(14-19)	3位
横須賀市	△(14-14)		○(49-14)	1位
新潟市	○(19-14)	●(14-49)		2位

【第2日目】

決勝トーナメント

■ボウル戦トーナメント■



藤沢RS定期交流戦

月日： 3月13日(日)

場所： 日大稲城G

[1年生]

麻生A ●10 - 40○ 藤沢A

麻生B ○45 - 15● 藤沢B

麻生C ○40 - 10● 藤沢C

麻生A ●25 - 30○ 藤沢D

麻生B ●20 - 45○ 藤沢E

麻生C ○40 - 35● 藤沢D

[2年生]

麻生A ●25 - 30○ 藤沢A

麻生B ○50 - 5● 藤沢B

[3年生]

麻生 ○55 - 35● 藤沢

麻生 ○90 - 10● 藤沢

[4年生] (キックあり)

麻生 ○12 - 10● 藤沢

麻生 ○63 - 0● 藤沢

[5年生]

麻生A ● 5 - 50○ 藤沢A

麻生B ● 0 - 60○ 藤沢B

[6年生]

麻生 ○45 - 25● 藤沢

麻生 ○55 - 20● 藤沢

相模原
SAGAMIHARA





















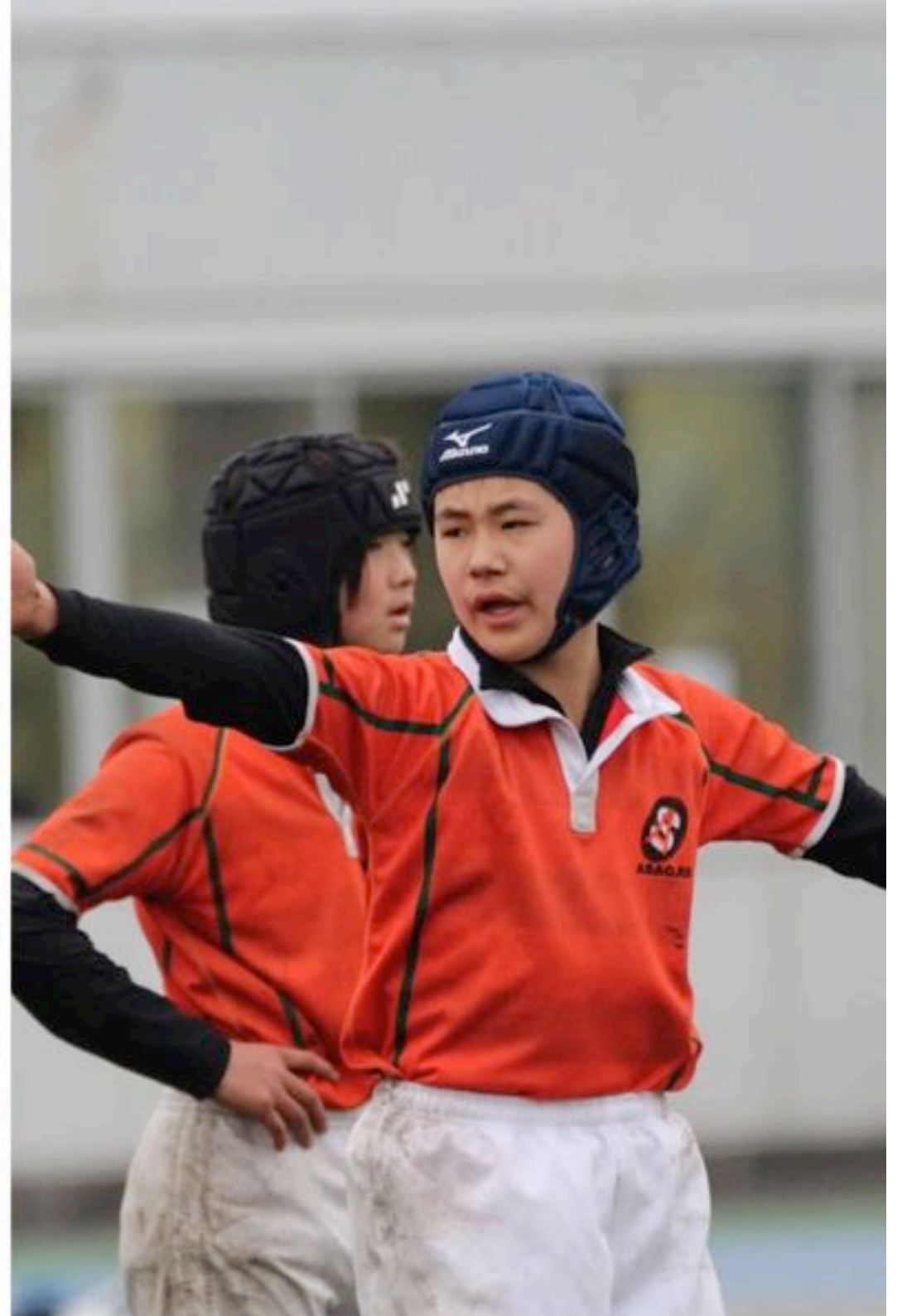
 **KANAGAWA
MINI RUGBY
FINAL CUP**



**KANAGAWA
MINI RUGBY
FINAL CUP**











K. TSURU

11

NAITSUKI





















 **KANAGAWA
MINI RUGBY
FINAL CUP**









KANAGAWA MINIRUGBY FINALCUP

編集作業に時間がかかってしまいましたが、何とか卒業式までに発行することが出来ました。自分が担当した学年が卒業する年のリトルラグーメン卒業号の編集はいつもの編集作業とはひと味違いました。

編集長 野田

麻生リトルラグーメン NO. 107

発行日／平成 28 年 3 月 20 日

発行者／三浦 幸宏(042-338-7536)

編集長／野田 卓人(044-281-9788):E-メールアドレス tactn@me.com

副編集長／小松 正巳

編集委員／渡部 眞久・外岡 幸隆・京屋 宜正・大原 広生・千秋 杉雄・室井 秀夫・曾我 浩

表紙題字:元全日本監督 日比野 弘氏 ホームページ <http://asaors.com/>